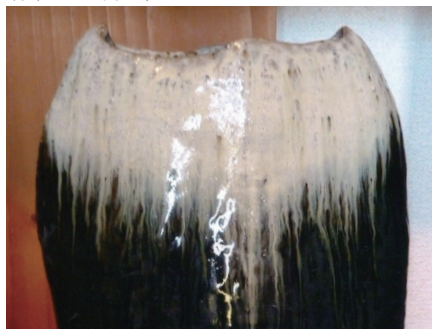




イタリアンレストランで



朝鮮!良く流れました



緑起の良い八角鉢



和食のお店で



お好きなくい呑みで



食後のお茶をセットで



和田 佳津
Kazu Wada

若い頃、美術部で勉強していた。

- 駐車場
- 作業風景見学
- 体験教室
- 要連絡

窯印・作家印▶

佳津窯

佳



唐津市原 1095-15
TEL.0955-77-3175

「日々の生活は食卓から」をモットーに作陶に取組まれている和田さん。主婦が暮らしの中で簡単に使える器を目指し、生活に密着した視点から生まれる「使う器」の数々は、実用的でいて女性目線で作られたものばかりだ。「クレームは多い方が良い。自分の成長の機会になる」と独特の考え方を語る和田さん。唐津焼は使う器であり、見る器ではない。使っていたらしくことで、唐津焼の良さや便利さがわかってもらえればと願っている。今後は若手の台頭に期待しているようだ。

食卓から生まれる、日常の器。